

## J A大阪東部自己改革取組宣言

J A大阪東部は、これからも総合事業を通じて組合員・地域の皆様に必要とされる組織を目指し、自己改革に取り組みます。

- 組合員・地域の皆様との対話を深め、協同の理念を共有した組織を目指します。
- J A活動の充実と一層の組合員参加を促進し、総合事業の強みを最大限に発揮します。
- それらをもとに、【持続可能な都市農業の展開】【組合員・地域との関係強化による組織基盤の確立】の諸施策によりJ A自己改革を加速します。

協同組合とは、組合員の一人ひとりが力をあわせ、みんなの願いをかなえていく組織です。

J Aは、農業に従事する正組合員と、J Aの事業利用を希望し加入頂いた農業者以外の地域住民である准組合員により組織され、組合員の皆様の営農と生活を守るために様々な事業を総合的に展開し、地域農業の振興や地域づくりに取り組んでいます。

これらのことは、信用事業や共済事業などを含めた総合事業全体の収支のなかで実施しているからこそ、J Aの経営基盤が安定し、営農指導員の配置や多額の農業施設投資が可能となるものあり、正組合員のみならず准組合員の事業利用が地域農業の振興には不可欠です。

これからも正・准組合員の皆様に対する総合事業の展開を通じて、地域農業の核を担うJ A・より良い地域社会づくりの中心的役割を担うJ Aを目指してまいります。

本宣言では、J A自己改革（「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」）に向けた主な取り組みを以下の通りご紹介します。

1. 都市農業の持続可能性の確保に向け、新規就農者・定年帰農者・後継者等への農業塾を継続的に開催いたします。

【目標：延べ参加人数 200 名】

2. 組合員から集荷した米を学校給食等へ安定供給するとともに、JA 大阪東部オリジナル精米「米夢」の販路拡大を図り、農業者の所得増大・地域の活性化に努めます。

【目標：「米夢 5 kg」販売本数 8,000 本】

3. 営農指導・提案力の強化を図り、土壌分析による施肥コスト抑制に向けた取り組みを強化し、農業者の所得増大に努めます。

【目標：前年分析実績 64 点から 10%増加の 70 点】

4. 生産資材の銘柄集約をすすめ、コスト削減資材水稲用化成肥料の普及推進を強化することにより、農業者の所得増大に努めます。

【目標：前年度供給本数 540 本から 10%増加の 600 本】

5. 水稲緑化苗予約引取りの普及推進を図り、生産資材コスト削減の取り組みを強化することにより、農業者の所得増大に努めます。

【目標：前年度引取り枚数 1,800 枚から 15%増加の 2,100 枚】

6. 小学校へ出向き、食能教育に関する出張授業を行います。

【目標：4 校】

なお、当 J A の営農指導事業の主な取り組みは次のとおりで、予算額は 9,896 千円となっています。

- (1) 営農指導員（アグリアドバイザー）を 3 名増員します。
- (2) 米・野菜作りを中心とした営農指導提案力の強化を図ります。
- (3) 営農指導員による圃場巡回を田植から稲刈まで毎月 2 回（合計 10 回）行います。また営農相談は随時対応します。
- (4) 農業塾を前年度同様の 5 回開催し、水稲疎植栽培等の農業技術講習会（内現地講習会 2 回）を実施します。
- (5) 多様化する組合員への対応として営農講習会（エコ栽培技術、大阪版簡易 G A P : 食品安全・労働環境・環境保全に配慮した持続可能な生産工程管理を行い農産物の生産出荷を行うこと）と新たに農作業に関する安全講習会を実施します。
- (6) 土壌診断分析・検査によるコスト削減施肥の普及推進のため、前年度診断点数から 10%増加の 70 点を目標に取り組みます。
- (7) 食品表示適正化の対応、指導を行います。
- (8) 生産緑地制度の農地所有者への周知及び農的活用を推進します。
- (9) 行政と連携した、鳥獣被害における農業意欲の減退防止や耕作放棄地対策として現地調査・検討会を開催します。